

レジメン名

weeklyPTX+Bev療法

出典 jco.2013.51.4489

実施部署区分

■入院 ■外来 □処置

対象疾患

卵巣癌

■進行・再発
□補助療法(術前・術後)
□初発

投与減量の基準(パクリタキセル)

ANC	FN あるいは $500/\text{mm}^3$ 未満が7日間以上持続する
PLT	$1\text{万}/\text{mm}^3$ 未満、または出血を伴う $5\text{万}/\text{mm}^3$ 未満
末梢神経障害	Grade2以上
その他	血液毒性により1週間以上の治療延期を生じた場合
上記いずれかの場合、以下のように減量	
$80\text{mg}/\text{m}^2 \rightarrow 70\text{mg}/\text{m}^2 \rightarrow 60\text{mg}/\text{m}^2$	

投与中止の基準

ANC	$1,000/\text{mm}^3$ 未満	PLT	$7.5\text{万}/\text{mm}^3$ 未満
day8,15	$500/\text{mm}^3$ 未満	day8,15	$5\text{万}/\text{mm}^3$ 未満
その他	Grade2以上の末梢神経毒性		

Bevの中止基準

血圧	$150/100\text{mmHg}$ を超える	UPC比	3.5以上※2
高血圧脳症、高血圧性クレーゼ、生命の危険を伴う出血、ネフローゼ症候群を発症、消化管穿孔・瘻孔、血栓塞栓症、可逆性後白質脳症症候群、過敏症状			

※2 蛋白尿による休薬が2か月を超えた場合は投与中止

1クール期間

21日

総クール数

PDまで

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
パクリタキセル	$80\text{mg}/\text{m}^2$	生食250mL	60分	d1,8,15
ペバシズマブ	$15\text{mg}/\text{kg}$	NS100mL	90分※ (30分まで漸減可能)	d1
※ 初回は90分、忍容性があれば2回目は60分、3回目以降は30分まで短縮可能				

1日投与順

(経時的にプレメディアーション・ポストメディアーション、溶解液まで含む)

<DIV>
day1
①グラニセトロン3mg/バッグ+デキサート6.6mg+ボララミン5mg+ファモチジン20mg(15min)
②パクリタキセル $80\text{mg}/\text{m}^2$ +生食250mL(60min)
DEHPフリーのインラインフィルターを用いて投与
③生食50mL(フラッシュ)
④ペバシズマブ $15\text{mg}/\text{kg}$ +生食100mL(90min※)
⑤生食50mL(フラッシュ)

<DIV>
day8,15
①グラニセトロン3mg/バッグ+デキサート6.6mg+ボララミン5mg+ファモチジン20mg(15min)
②パクリタキセル $80\text{mg}/\text{m}^2$ +生食250mL(60min)
DEHPフリーのインラインフィルターを用いて投与
③生食50mL(フラッシュ)